

令和6年度東京都立八王子西特別支援学校経営報告

スローガン「夢と誇り、そして仲間」

令和6年度の活動

- 1 生きる力を育てる生き生きとした教育活動**
 - ① 各種プロジェクト お花植え、昼の放送、ダンス、読み聞かせ(図書館、教員、子ども)、ポップコンテスト、バスケ、クラシック鑑賞・絵はがき配布・食育・ヒップホップ・夏祭り
 - ② 各部・全校活動 くわのみ祭・学校公開、実習報告会・生徒会・高等部集会・音楽発表、ダンスフェスティバル、中記録会、小相撲体験
 - ③ 行事・交流 校外(全学年)、宿泊学習・修学旅行、交流(東浅川小・浅川中・八王子特支・八王子南)・バスケ試合交流
- 2 質の高い教育サービスの提供**
 - ① 研究授業(324回)と外部専門員活用(PT・OT等、大学教員・専門家)・教科会
 - ② ICT報告会・教材プレゼン・デジタル教材授業(週5時上80%)
 - ③ 摂食・言語相談(歯科医、ST)、教材展示会(年1回)
 - ④ 保護者対象進路研修(年6回 他校参加)、摂食・認知・アセスメント・医ケア・精神科医研修、希望就労(100%)
 - ⑤ ビルクリ・喫茶検定高3年全員1級→態度・姿勢高評価
 - ⑥ 不登校対応(専用室・月1回の電話、18名登校増)
 - ⑦ 夏季プール(午前実施・S B送迎)
- 3 安全・安心な教育環境整備**
 - ① 教育環境整備と計画的・組織的対応で大きな事故0達成(行方不明対応・災害時バス待機場所・雪対応)
 - ② 警察・消防連携の安全対策と防災訓練計画的実施
 - ③ 防災委員会(年2)、心の日と相談日(年3 児童生徒保護者)
- 4 開かれた学校積極的推進とセンター的機能強化**
 - ① 多様な情報発信(マチコミ・HP491回、学校日記185回)
 - ② 学校公開(1895名)、副籍直接交流(34名)、喫茶(週2日) 会社・地域お祭り訪問(喫茶・ビルクリ・太鼓部)、地域交流会
- 5 ライフワークバランス推進**

業務効率化と組織的対応で働きやすさ高評価(自己申告80%上)
- 6 通学区域変更と新規授業対応**
 - ① 上級学校見学(八王子南特支)・町田市施設一覧配布
 - ② 校庭開放等都事業積極的協力と医ケア・形態食安全実施

学校運営協議会提言(学校評価より)

- 1 教育活動の活性化及び充実**

積極的に地域との生き生きとしたかわりを進めてきた活動を継続し、コミュニケーションと感謝に重点おいた指導を行う。
地域と共感し、感謝の気持ちを共有する中で、共生社会としての双方向のコミュニケーションの向上を図る。
- 2 安心・安全で人権配慮の教育環境整備**

「子供たちを守る」を第一に考えた教育環境整備を継続し、八王子市、消防署、警察署、子ども家庭支援センター等から必要な支援をすぐに受けられるよう、積極的に外部団体とつながっていく。
様々な分野の専門家、外部人材を活用し環境改善を進めていく。
- 3 コミュニケーションの更なる活性化**

「心の日」を「相談日」を設け、子供たちや保護者が相談しやすい環境を整えてきた。特に「心の日」は子供たちの話を聴く機会であり、児童・生徒の意見を教育活動改善へと発展させていく。
「迅速な対応をしてくれた」と肯定的な意見が多い。保護者と教職員の円滑なコミュニケーションは継続する。
- 4 スリムで働きやすい職場環境**

子供たちが安心・安全に学校生活を送るために、教職員の働き方改革は重要である。働きやすい環境、仕事の整理を継続し、教職員として必要な業務へエネルギーを注力できるように整備する。

成果と令和6年度に向けて

- 方策1 生き生きとした教育活動**

成果 各プロジェクト・行事の効果的实施
課題 ①12年間を見通す系統的指導整備
②行事等の教育課程上の位置付け明確化と内容精選・改善
- 方策2 質の高い教育サービスの提供**

成果 ①外部人材活用の授業改善
②ICTの効果的活用
③個に応じたキャリア教育充実
課題 ①外部人材等活用の研究授業充実
②ICT教材等作成と成果発信
③専門性向上研修の整備充実
- 方策3 安全・安心な教育環境整備**

成果 ①事故0達成
②避難訓練改善と二次避難準備
③人権意識向上と相談体制整備
課題 ①事故0更新と防災計画全体整備
②在校生・保護者・地域連携の教育環境整備と医ケア対応充実
- 方策4 開かれた学校積極的推進**

成果 ①迅速で多様な情報発信
②地域貢献活動・連携活動の充実
課題 ①学習活動の積極的紹介
②積極的な地域支援と地域連携
③教育資源の多様な発信
- 方策5 ライフワークバランス推進**

成果 改善策の提案と共有
課題 働きやすい職場への改善策提案
- 方策6 通学区域変更後の学校連携等**

成果 体験会実施等で信頼獲得円滑実施
課題 通学区域内各校との連携